

佐久市無電柱化基本方針(案)に関する 意見募集の実施結果

1 意見募集の概要

(1)意見募集期間

令和2年3月2日(月)から3月16日(月)までの14日間

(2)素案の公表方法

ア 佐久市ホームページへの掲載

イ 佐久市役所市民ホール、都市計画課窓口、各支所窓口に閲覧用として設置

(3)意見の募集方法

ア 郵送

イ 電子メール

ウ ファックス

エ 直接持参(佐久市役所都市計画課)

2 意見募集の結果

(1)提出された意見 6名8件

(2)提出された意見の概要とそれに対する市の考え方 別紙のとおり

佐久市無電柱化基本方針(案)に対して提出された意見の概要とそれに対する市の考え方

No.	意見・提言要旨	市の考え方
1	望月宿や茂田井間の宿は昔の風情が残されており、電柱はそぐわない。また、茂田井間の宿は道幅が狭く、電柱が有ることでさらに狭く感じるとともに、見通しも良くありません。地域の住民も家の外観や塀の修繕等を行うことで、景観を大事にしています。市としても無電柱化を進めていただき、道を広く使えるようにするとともに、訪れる人にも思い出に残るような街並みにしていただきたいと思ひます。	<p>無電柱化には、多額な整備費用や長期にわたる整備期間を要することから、路線選定やエリアの設定にあたっては、基本方針に基づき、無電柱化の必要性や効果等を十分に検討する中で行ってまいりたいと考えております。</p> <p>また、国や県の動向等を踏まえ、各種制度の運用や公共事業に合わせた無電柱化などを合わせて検討することで、総合的かつ計画的に無電柱化を推進してまいりたいと考えております。</p> <p>なお、各路線における無電柱化手法の選択や整備にあたっては、路線状況や地域特性、無電柱化が与える効果等を総合的に検討のうえ、電線管理者や地域住民の皆さまと十分に協議しながら、推進してまいります。</p>
2	無電柱化については賛成ですが、望月地区の春や秋の祭りの時期には街道に提灯を吊します。現状では、電柱にくくりつけた柱に交差する棒に吊り下げられているため、電柱がなくなると提灯が吊せなくなるため、伝統文化を守るためにも一考をお願いします。	
3	敷地内に老朽化した電柱が一本あり、台風や強風の際に電柱が倒れてこないかが心配になります。コストがかかるかもしれませんが、地下に埋めていただきたい。	
4	無電柱化は佐久市の都市計画と密接な関係がありますが、都市美化、景観の保存の観点から、「交差点のロータリー化」と併設して考えられるべきである。	<p>いただいたご意見につきまして、関係部局と共有するとともに、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>
5	財政が逼迫する中で優先的に行う事業ではない。	<p>無電柱化には、多額な整備費用や長期にわたる整備期間を要することから、必要性や効果等を十分に検討する中で優先的に実施する必要があるれば、推進してまいりたいと考えております。</p> <p>また、無電柱化の推進にあたっては、国で推進する低コスト手法の導入検討や新規道路整備に合わせた無電柱化など、費用対効果を最大限に検討したうえで、整備を行ってまいります。</p>
6	歩道整備や車の通行を制限して安全に歩行できる街とすべきである。	<p>無電柱化基本方針は、無電柱化を計画的に推進し、円滑に事業を進めていくための方向性を示すものであり、次年度以降、道路状況や地域特性等を踏まえるなかで、無電柱化の必要性が高く、実施可能な路線につきましては、無電柱化推進計画を策定のうえ、実施してまいりたいと考えております。</p> <p>なお、道路の整備や維持管理等につきましては、いただいたご意見を道路管理部局と共有するとともに、無電柱化事業とも連携を図ることで今後の道路事業の参考とさせていただきます。</p>
7	維持管理や更新が大きな問題となっている昨今、「基本方針」がこれらの問題に対して及んでいないことは、「方針」の体をなしていないと感じる。	
8	都市計画で行うべきことは、過疎地の暮らしをどのようにするか、若い人を中心に20年先を考えることである。	<p>無電柱化基本方針への意見ではないため、回答を差し控えますが、今後の都市計画においては、若い世代からの意見を収集する場を積極的に設け、事業を推進してまいりたいと考えております。</p>